男女参画委員会 第 11 期第 6 回三役会議事録

■日 時 : 2013年6月24日(月)10:00~17:30(終了予定)

■場 所 : ALEFロッキーセンター 小会議室

出席:内山、吉崎、青木、竹下、渡井、平岩、小林(記)

欠席:寺岡

司会:渡井 記録:小林

委員長挨拶

第 11 期 1 年目の活動も 8 月の委員会で最後。期の半分ということで、今期どのように着地をさせるか。 6 月頭に三役が受講したキャリアデザインをどのように委員会に活かしていくかを議論していきたい。

1. 第2回委員会反省点

男女参画三役

- ・貸切バス移動ということで、とにかく到着時間が肝だった。色々な状況を予想し、対応が出来る様パターンを用意してあったので臨機応変にできてよかった。
- ・政策フォーラムと一緒だったため、国会出発の時間をどこかでアナウンスできればよかった。
- ・売店が狭かった。時間のアナウンスが出来なかったこともあり、時間的余裕が無く、各自土産が思うよう に購入できなかった模様。
 - ⇒そういうこともあってか予想以上に景品を喜んでもらえたのはよかったと思う。
- ・委員会メンバーからの質問が出なかった。政策フォーラムが一緒だったからか?第2の質問を用意した 方がよい。通常やろうとしたことと違うことになったので、質問が出なかったのでは? ⇒雰囲気づくりが大事。
- インスピレーションは人となりがわかる内容でよかった。
- ・国会見学は人数が多いこともあり、流れ作業的だった。(説明がテープ、見るのも一瞬で説明がなかった)
- ・議員に配慮した会場にすべきだった?
 - ⇒議員との関連、つながり、背景まで考慮して会場を設定すべきだった?国会議事堂に近く、設備も整っており、改築して間がなく綺麗、料金はそこそこ…と安易に決めてしまったが、議員との絡みまで考えるべきだったのか?民主党本部ビルの会議室は借りられるか?(次回検討?)
- ・集合三島はよかったと思う。(特に西部は帰るのが1時間は違う) ⇒事務局サイドとしたら費用は余計に掛かってしまうだろうけど
- ・今回は持ち込み荷物が多かったこともあり事務局的には、荷物の運搬・片付けが大変だった。

政策フォーラム参加者からの意見

- ・議員や候補者から一方的に発信する会が多いのでクイズ形式などでよかった。
- ・若手の組合役員に対しては、なぜ政策制度の活動をするのか、といった説明が無い状態だったので(説明した時間帯からの合流では無かった為)本当に政策フォーラムと言えるのか?
- ・男女参画らしくてよかった。

余談…石上さんは休日には洗濯以外の家事全般をするとのことです。

2. 各単組の活動報告

竹下より

・三菱労組内の交流委員会で、両立支援関連制度について 7月中旬から 1 カ月ほど 5 回 (静岡 130 人) に分けてランチミーティング (制度の紹介) を実施。対象は女性組合員

(管理職や男性組合員にも知ってほしい。)

- ・女性対象なのは女性の離職率が高いため。
- ・CP プラン:総合職向けのプラン(キャリアアップ含め) 労使で実施。検討委員会を労使で設置。
- 3. 連合『第4次男女平等参画計画』の策定を踏まえ、電機『女性参画推進計画』の見直しと取り組み (電)年間スケジュールがHP上に公開→(電)地協男女平等担当者会議 2013年10月24日(木)開催
 - ・来年度の開催月が1月ではなく10月への変更について 電機として連合の計画を受けて、電機連合「女性参画推進計画」(骨子案)について各地協の委員会 の方々にも意見をいただき、中央委員会 (2014-1) にて提起したい。
 - ・開催日の1ヵ月前頃に通報にて開催案内を出すので、そのタイミングで(案)を提示する予定。 ⇒骨子案が出てきた後に三役会等を設置して議論する。

(単組まで降りるかは、どんな形で骨子案が出てくるか次第)

連合静岡:6月12日(水)執行委員会終了後に『男女共同参画セミナー』実施し「第4次男女平等 参画計画」を説明。

- 4. 静岡県『男女共同参画社会づくり宣言』について
 - ・5年更新。平成20年に宣言書を提出。更新をどうするか。⇒更新は実施する。
 - ・8月末までに更新・提出する必要があり。三役で宣言書を作成し8月31日までに提出。日程が合えば県庁に三役で提出しに行く。三役会が開催できない場合はメールでやり取り。

第3回委員会でメンバーに議論させるか?⇒委員会の時間配分を考えた後で議論させるか決める。

5. 第3回委員会について (ワールドカフェ方式)

ワールドカフェで推奨されている進め方としては、

① 定義⇒②意義⇒③要素⇒④行動

となるようにテーマを選定する。

※ただし、ワールドカフェでの議論は結論を出す場ではなく、あくまで情報交換の場。

内山と平岩が参加したときのテーマは下記の通り

- ①あなたの考える WLB
- ②WLB が思うように進んでいない問題は?仕掛け?意識?
- ③意識の問題を考える

第3回委員会で議論してもらうテーマは?

- ・WLBとは?
- ・WLB ができている状態とは?
- ・WLB を推進する目的、メリットは何か?
- ・WLB を実現させるための問題点は何か? (現状把握)

第1回委員会で取り扱った内容

- ・実現するために必要なこと、改善点は何か?
- ・各組織、単組でできることは何か? (10月に実施予定の第4回委員会、チームビルディングで体感)
- ・個人でできることは何か? (12月開催予定の第5回委員会、キャリアデザインで議論)
- ※第 11 期男女参画委員会のシナリオとして、第 4 回チームビルディングで各単組、組織でできること、 第 5 回のキャリアデザインで、個人でできること、そして最終第 6 回委員会につながるように第 3 回 のワールドカフェで実施するテーマを選定する。

第3回委員会の流れ

- 1WLB についての復習
- 2ワールドカフェ方式で議論
 - ①現状把握(WLBが実現できているのか?できていないのか?なぜそのような状況にあるのか?)
 - ②WLB を実現するためにはどうする(どうある)べきか?
 - ③あるべき姿に近づけるために必要なこと、改善点は何か?
 - ※第4回委員会以降の自分たちにできること、組織にできること(チームビルディング、キャリアデザイン)に繋げる。
- 3ワールドカフェでは結論を出さないので、最後にグループワークを実施して議論した内容をまとめる

8月7日10:00~ 全体司会:渡井

内容	配分	時間	担当
挨拶(顧問、委員長)	10分	10:00~10:10	寺岡、内山
オリエンテーション	5分	10:10~10:15	渡井
WLB について(復習)	20 分	$10:15\sim10:35$	青木
アイスブレーキング	30 分	10:35~11:05	竹下
(自己・他己紹介)	30 77	10.35.011.05	, k1 1.
ワールドカフェ①(練習ラウンド)	45 分	11:05~11:50	吉崎
説明 10 分・練習 35 分			
昼食・休憩	50分	$11:50\sim12:40$	
ワールドカフェ②(本番ラウンド)	90分	12:40~14:10	小林
20 分× 3			
休憩	10分	$14:10\sim14:20$	
グループワーク	60分	$14:20\sim15:20$	小林
発表	50分	$15:20\sim16:10$	小林
報告事項・写真撮影	20 分	16:10~16:30	内山
まとめ・アンケート・片づけ・閉会	20分	$16:30\sim16:50$	渡井

- ※ワールドカフェ①は練習を兼ねて 1 ラウンド 10 分程度を簡単なテーマで実施し、ワールドカフェ方式に慣れてもらう。
- ※担当シナリオ・資料の第1回締め切りを7/22 として、メールで確認する。(ワールドカフェ②については早めに出す。) 最終版は8/2 までに完成させる。(委員会8/7)

6. 第5回委員会について

内容:ライフ・キャリア・デザインセミナー

目的: WLB 実現向け自ら一歩踏み出してもらうため、現状の自分を見直してもらい、意識を変えるきっかけにする。

⇒そのためには、委員会でメンバーに何を考えてもらうか?

- ・過去を見つめなおして、現在状況を確認して、今後について考える
- ・その際、WLB実現に必要なことは何かを考える。

委員会で活用できそうなキャリア・デザイン研修のメニュー

- ① ライフ・キャリアタイムチャート (現在~未来・自分と家族のことを同時に考える)
 - ・現在やるべきこと、WLBについて考えることができる。

・5年後の自分(目標)と抱き合せてみては?

・WLB を考えるきっかけになる

②キャリアアンカー(指向性)の考え方 8つの領域の中から指向を客観的にみられる

・自分の指向をみつけることで仕事生活すべてにおいて時間の使い方も変わってくるはず

・内的キャリア、価値観・やりがい

③燃える仕事・燃えない仕事⇒キャリアアンカーと関連付けして考えてみては?

・過去の振り返り (WLB 実現できていたかどうか)→

分析:その時のライフはどうだったのか?今後 のライフ充実のために利用

強み、弱み含む

ライフ充実のヒント

自己理解

に役立つ

④組織と仕事と人と心と

- ・組織と個人/ジョ・ハリの窓/キャリアとは仕事人生/仕事と人生と自己責任
- ・主役・傍役、お互い様
 - ⇒ベースは<u>会社で仕事していること</u>、地域の中で何らかの<u>組織に関わっている</u>こと 個人と組織の関係・あるべき姿

☆委員会でキャリア・デザインを扱う際にキャリアの定義(Work job キャリア 人生…)を決めて予め伝える必要あるのではないか?

電機東海ブロックのセミナーカリキュラムは、job に重心を置いているように感じた。そのままでは WLB とのつながりが見えない。

☆キャリアという言葉を使用しない、もしくは置き換えることはできないか?

例:ワークライフデザイン など

⇒別途検討

以上